

令和5年度第2回 稲沢市地域公共交通会議 会議録

【日 時】令和6年2月19日（月）

午前10時から午前11時30分まで

【場 所】稲沢市役所 2階 政策審議室

【出席委員数】16名（欠席者：4名）

【傍聴者数】4名

【議事次第】

1 あいさつ【会長】

2 議事

報告事項（1）稲沢市地域公共交通について

報告事項（2）稲沢市コミュニティバスOD調査結果報告について

協議事項（1）『稲沢市コミュニティバス運行事業計画』変更(案)について

3 その他

（1）「大里駅」の取り扱いについて

【議事内容】

2 議事

報告事項（1）稲沢市地域公共交通について

- 資料番号1に基づき、コミュニティバス、コミュニティバス接続便及び稲沢おでかけタクシーの利用状況等について説明を行った。

【主な意見】

- ・ コミュニティバスの幹線は良いが、支線の利用者数が苦勞しているように思われる。やはり稲沢おでかけタクシーが影響しているのか。事務局の見解を聞かせて欲しい。

【会長】

→ 支線については、コロナ禍の中で始めた稲沢おでかけタクシーの影響は少なからず受けていると思われます。ただ、利用者数の前年度比を見ますと、支線の祖父江・稲沢線ふれあいの郷系統は14.4%、地泉院系統は14.7%、千代田・平和線は8.2%といずれも昨年度より

も利用者数が伸びてきておりますので、今後この数値がどのように推移していくのかを注視したいと考えております。

【総務課】

- ・ 7 ページの祖父江・稲沢線地泉院系統で発生している追加便について、発生している便や時間帯がわかれば教えて欲しい。
また、14 ページの小学生対象の無料体験乗車券について、令和4年度と比較してどのように変化したのか教えて欲しい。

【委員】

→ 地泉院系統の追加便については、祖父江から市民病院に向かう第3便で最も多く発生しております。ほとんど同じ便で発生している状況でありますので、この辺りは発生状況を分析していく必要があると考えております。

小学生対象の無料体験乗車券については、令和4年度は405枚利用がありましたが、令和5年度は388枚と昨年度より少し減っております。

【総務課】

- ・ 稲沢おでかけタクシーと同様の事業は他市でも始まっており、広範囲に進んでいるので、ぜひ持続可能なものとして欲しい。
2025年問題を控え、今後利用者の増加が見込まれる中で、コミュニティバスと異なり、稲沢おでかけタクシーは利用者が増えれば市の負担額も増えるため、これらのバランスをどのように保つのが課題になる。
下津・大里線については、利用者1人あたりの市負担額が1,500円前後を推移している。また、1便あたりの平均利用者数は2.5人程度であり、追加便もあまり発生していない。
最近ライドシェアが話題になっているが、稲沢市は交通不便地域に該当しないため、いろいろと課題がある。一方で、ある一定の負担が難しいかたがバスを御利用いただいている状況でもあるため、このような路線において普通免許を持つ地元の方に白ナンバーで運転してもらうことを今後検討していただきたいと思っている。

【委員】

→ 稲沢おでかけタクシーについては、昨年度に比べて利用件数は少し落ち着いてきましたが、微増は続いている状況であります。稲沢

おでかけタクシーとコミュニティバスには、それぞれに利点がありますので、これらのバランスをどのように保つのか考えていく必要があると認識しております。

下津・大里線については、(2)で報告しますOD調査の際に、車内がいっぱいになる時間帯もありましたので、今後の利用状況を注視してまいります。

【総務課】

- ・ 最近の稲沢おでかけタクシーについては、なかなか予約が取れないという声をよく聞く。また、大里地区の方がコミュニティバスを利用する場合は、接続便から乗り換える必要があるため不便である。

このような状況の中で、下津・大里線が基準値の1,500円を超えているから廃線だということになると、大里地区の交通機関がなくなってしまうため、なんとか改善策を考えていただきたい。

【委員】

- 稲沢おでかけタクシーの配車状況については、私たちが課題を認識しており、運行事業者とも話し合いをしております。

タクシーについては、時間指定の予約が入りますと、車両の待機時間が発生し、コールセンターでの対応時間も長くなると運行事業者から伺っております。市内タクシー事業者では、昨年より順次「時間指定予約料金」を設定しており、これにより時間を指定する予約の必要性が精査され、今後は「タクシーの配車効率の改善」や「コールセンターの対応時間の短縮」に少しでも繋がれば良いと思っております。

コミュニティバスの下津・大里線については、できる限り廃線は避けたいので、当会議において委員の皆様の御意見やお知恵をいただき、改善できるように検討してまいりたいと考えております。

【総務課】

- ・ 稲沢おでかけタクシーの「時間指定予約料金300円」は今後どのような取り扱いとなるか。

【会長】

- 現在は周知期間として、利用者負担はありませんが、4月からは300円の2分の1(150円)を利用者負担とする予定です。

【総務課】

- ・ 下津・大里線が「地元の方でコミュニティバスを支える」一つのモデル地区にならないかと考えている。内容としては、タクシー会社が普通免許を持つ地元の方を採用し、接客対応や保険の問題などをクリアした上で、コミュニティバスの運行を支えていただくものである。

【委員】

→ 下津・大里線については、引き続き当会議で協議していきたいと思っています。

ライドシェアについても慎重に考えていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

【会長】

- ・ 稲沢おでかけタクシーは障がい者も対象としているが、稲沢市の「福祉有償運送の現状」や「おでかけタクシーとの関連性」などがわかれば教えて欲しい。

【会長】

→ 現時点で把握していないため、次回の会議までに確認しておきます。

【総務課】

報告事項（２）稲沢市コミュニティバスOD調査結果報告について

- 資料番号２に基づき、OD調査の結果について説明を行った。

【主な意見】

- ・ OD調査の結果は、路線ごとだけでなく、全路線をまとめたデータもあると良い。

【会長】

協議事項（１）『稲沢市コミュニティバス運行事業計画』変更(案)について

- 資料番号３に基づき、『稲沢市コミュニティバス運行事業計画』変更(案)について説明を行い、質疑応答の後、合意を得た。

【主な意見】

- ・ 名鉄バスの自主路線で削減する便の利用状況を教えて欲しい。

【会長】

→ 今回のダイヤ改正では、3便運行している時間帯を2便に減らし、減った便については前後の便に御乗車いただくもので考えております。始発の便については、非常に利用が少なく、利用人数の平均も7人しか乗っておりません。夕方以降の便についても10人は超えておりますが、バスの乗車定員からしますと、前後の便を御利用いただいても十分に御乗車いただけるものと考えております。

【名鉄バス株式会社】

- ・ 今回の改正で、稲沢市民病院と国府宮駅の区間が減便されているが、その区間も利用者が少ないという判断か。

【委員】

→ その通りです。

【名鉄バス株式会社】

3 その他

(1) 「大里駅」の取り扱いについて

- 資料番号4に基づき、大里駅のバス停留所が廃止になった経緯について説明を行った。

【主な経緯】

- ・ 旧「大里線」については令和2年1月から令和5年3月まで、運行事業計画の見直しに係る基準値1, 500円を超える状況が続いていた。
- ・ 令和2年9月実施の利用者アンケート調査では「バス停を限定し所要時間の短縮を図ることで、運行本数を増やしてほしい」、令和3年9月実施の市民アンケート調査では「停留所を削減してでも、各地域から鉄道駅や市内量販店等へ、短い時間で結んでほしい」といったご意見を多くいただいた。
- ・ 上記の結果を基に、路線の見直しを当会議において協議し、鉄道駅や量販店など利用の多いバス停留所を効率的な路線で結ぶ新たな路線「下津・大里線」の運行を開始した。

- 旧「大里線」のバス停留所「大里駅」については、接続便乗り場を鉄道駅に設置することで、接続便本来の趣旨であるコミュニティバスへの乗り継ぎと異なった目的の利用が想定されたため、接続便乗り場の設置は行わなかった。
- 稲沢市議会の令和5年9月定例会において、大里駅への接続便乗り場の設置に関するご意見をいただいたので、今後の当会議において、大里駅の取り扱いについてご協議いただきたい。

以上で閉会した。